



最も魅力を感じている図書館

私の1年次の履修科目は、教育学専攻の科目や体育などの必修科目がほとんどでしたが、2年次は自分の知的好奇心に従い、専攻科目以外のさまざまな科目を履修しています。たとえば食事や運動など健康に関する科目や、心理学の基礎に関する心理学専攻の科目などです。科目の種類は一見ばらばらですが、これらに共通しているのは、かねてより個人的に興味・関心のあった分野であるということです。知識の幅を広げて教養を身につけ、これから先の人



文学部生のリアルな学生生活の様子を掲載し、ご父母の皆さまに文学部生の充実したキャンパスライフの風景、また文学部ならではの取り組み等の情報を発信いたします。

「中央大学文学部に入学してよかった」と思うこと

それは、専攻科目以外の科目を自由に履修できることです。私は、もともと教職課程を履修するつもりで教育学専攻を選びましたが、自分なりに考えた結果、教職課程の履修をやめました。しかし、課程履修の有無に関係なく、教育学という学問を非常にもしろいと感じながら日々学修しています。それでは、最初に述べた専攻科目以外の科目履修についてお話しします。



履修科目以外の情報もチェック

生に大いに役立てたいと考え、意気軒昂として履修を決めました。ところが、その決断は自らの首を絞めることになりました。決してこれらの科目を簡単だろうと楽観視していたわけではないのですが、何しろ1年間学んだ教育学とは異なり、自分が初めて触れる学問分野ですから、より積極的な学習が不可欠なのです。教育学専攻の科目よりも、疑問を抱くことや理解が難しいと感じることが頻繁にあり、必然的に教授に質問する回数も、自習時間も多くなりました。そして当然、試験対策にも苦戦しました。けれども、決してそれらの手間や苦労が無駄なものだとは思いません。「若いときの苦労は買ってでもせよ」ということわざがありますが、自分の座右

学部の仕組みや大学の設備を有効活用した、自分らしい学生生活

あきもと なつき
秋元 奈月

文学部人文社会学科教育学専攻2年
私立光星高校(北海道)出身



幅広い多彩な学びに喜びを感じる毎日

の銘ともいえるこの言葉を実行できて
いるようで、むしろ喜びを感じます。
多様な分野の共通科目や他専攻の科目
を履修することができ、自らの選択し
だいでどんな苦労を「タダで」でき
ることが、文学部のすばらしいところ
だと私は思います。

個人的に最も魅力を感じる施設 「中央大学図書館」

次に、文学部からは逸れますが、中
央図書館についてお話ししたいと思っ
ます。中央大学図書館の広々とした館
内には座席数も多く、静かな環境で自
分だけの世界に没頭しながら本を読む
ことができます。また、膨大な数の蔵
書とそのデータベースを簡単に検索で
きるシステムがあることも、学習者に
とっては大変貴重な存在だと思いま
す。私は中央大学に入学してこの図書
館の存在を知ったとき、すぐに「4年
間でできるだけ多くの本を読もう」と
決意しました。こんなに充実した施設
を活用しないのはもったいないと思っ
たのです。

教育学に関係する本や評論も読みま
すが、私は小説が一番好きなため、ま
ずは有名な作品から読んでいこうと考
え、最近では主に直木賞や芥川賞の受



空き時間は図書館で自習

賞作品を読んでいます。読後には必ず
どんな内容だったか、何を感じたかを
簡潔な読書メモとして書きます。文字
にして記録することで、その本に関す
るさまざまな情報を記憶に刻み込むこ
とができますし、失念した際にもメモ
を読めば思い出すことができるので
す。この習慣は4年間続けていくつも
りです。

以上が、中央大学文学部生である私
のリアルな学生生活です。私の2年間
の学生生活には今のところ留学のよう
な華々しい経歴はありませんが、他人
と比較することなく、自分は自分らし
くやりたいことをやれていれば十分だ
と思っています。お読みいただきあり
がとうございました。

春休みの過ごし方について

文学部事務室

笹本 英希



2 017年7月1日付けで中
央大学附属中学校・高等学
校事務室から文学部事務室に配属に
なりました笹本英希と申します。ご
子女のご活躍、また中央大学の発展
を皆さま方と一緒に喜びたいと思
っております。どうぞよろしくお
願いします。

さて、学生の皆さんはこれから春
休みが始まります。今まで挑戦でき
なかつたことに挑戦する絶好の機会
です。

私自身、学生時代に挑戦したさま
ざまなことは今でもとても良い思い
出となっています。また、その挑戦
は学生時代にしか挑戦できなかった
貴重な体験だったと思います。

One of these days is none of
these days. (いずれそのうちはや
らずに終わる。)

1つでも多くのこと、少しでも大

きな目標に挑戦し、その思い出を学
生時代の宝物にしていきたいと思
います。保護者の皆さまにはぜひ
ご子女の挑戦をサポートしていただ
きたいと思います。

また、リンカンの言葉にこんな
言葉があります。

If I had eight hours to chop
down a tree, I would spend the
first six hours sharpening the axe.
(もし木を切るのに8時間与えら
れたなら、6時間は斧を研ぐことに
使うだろう。)

挑戦をするために事前の準備はと
ても大切です。思わぬ横やりでご子
女の挑戦が失敗しないよう、また、
より大きな挑戦ができるよう遠くか
らサポートしていただきたいと思います。
ご子女の学生生活がより良い
ものになるよう応援しております。